

みっくら お知らせ版

令和4年1月15日発行 第353号

発行：大瀬川活性化会議

事務局：花巻市石鳥谷町大瀬川10-45-2

(大瀬川振興センター内) 電話/FAX 45-6472



寅



令和4年 年頭のご挨拶



新年あけましておめでとうございます。

地区民の皆様には、令和4年の新年を穏やかに迎えられたこととお喜び申し上げます。

昨年の大瀬川活性化会議は、令和2年に引き続き新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、やむなく事業の縮小や中止をせざるを得ない状況となりました。

こうした状況のなか、昨年11月ごろから感染防止の行動制限が緩和されましたが、正月に入り新型コロナウイルス感染症（オミクロン株）の第6波が始まり、残念でなりません。地域みんなで感染しないよう注意をお願いいたします。

今は、感染症が収まらない中で降雪の時季となっていますが、このコロナ禍が一日も早く終息し穏やかな年となりますよう願うものです。

大瀬川活性化会議では、生きがいのある地域づくりを目指して参りますので、皆様の一層のご支援とご協力をお願い申し上げ新年のご挨拶といたします。



大瀬川活性化会議 会長 熊谷秀夫



『新春の集い』のお知らせ



地域づくり委員会では、2年ぶりの新春の集い企画として、NHK 盛岡放送局の夕方のテレビ番組『おばんですいわて』でおなじみ、気象キャスターの大隅智子（おおすみともこ）さんを講師にお招きします。

気象予報士、防災士、健康気象アドバイザーなどなど、さまざまな顔を持つ大隅さんの講演会に、ぜひ足をお運び下さい。

—— 地域づくり委員会委員長 畠山勝敏

日時：令和4年1月30日（日）13：30～15：00

会場：大瀬川振興センター

テーマ：『農業と天気予報』

※感染症対策にご協力ください。

新型コロナウイルス感染拡大状況によっては中止となる場合もあります。

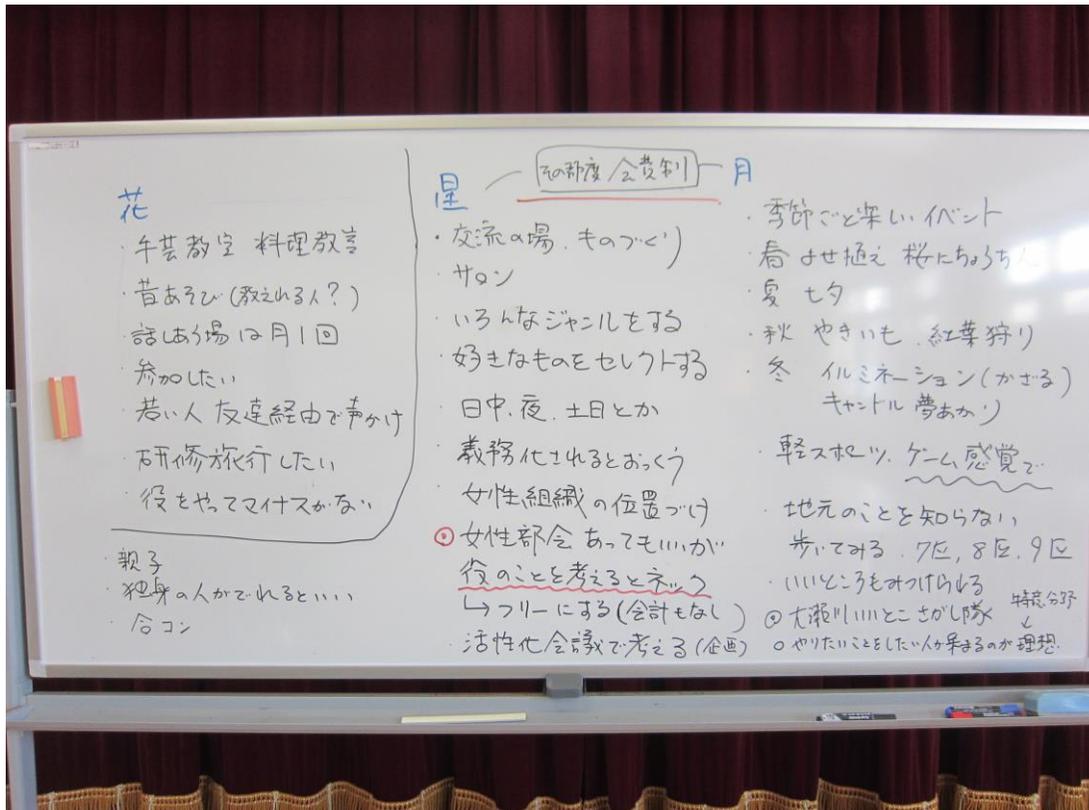


—振興センターに門松—

12月27日、板垣幸寿さんに今年も門松を寄贈していただきました。

門松は年神様を迎え入れる目印になるもので、一年中落葉しない松、成長の早い竹、新春に開花し年始にふさわしい梅の3つの縁起物が用いられるそうです。竹の斜めの切り口や、2本の縄で編んだ飾り結びも見事です。

今年こそ、気兼ねなく施設が使用できることを願います。



第1回 10月29日(金)

○話し合いの内容

テーマ 「大瀬川地区がこうなったらいいなあ」

「じぶんだったらこんなこともやってみていいなあ」

第2回 11月26日(金)

○話し合いの内容

テーマ 「話し合う機会を増やすにはそうしたらいいか？」

「若い人と交流するためにはどうしたらいいか？」

「役が多い(負担が多い)ことを軽くするためにはどうしたらいいか？」

第3回 12月17日(金)

○話し合いの内容

テーマ 女性の交流する場をつくるとして・・・

「交流する場所でどんなことをやりたいか？」

「どうやったら交流を図ることができると思うか？」

(事業内容、時間、役割分担、交流会の頻度など)について話し合う。

わたかふえが終了

令和3年10月から12月まで月1回開催してきた地域づくりサポート事業『わたかふえ』が12月17日に最終回を迎え、今年度の事業を終了しました。

カフェでくつろぎながら話しができるような雰囲気できれいに集まれる場所づくりをテーマに、3回シリーズで延べ38人が参加しました。月・星・花組にグループ分けをして、各回それぞれのテーマについて話し合い、第3回で出た内容が上のホワイトボードの写真です。

第1回～3回のテーマは次のとおり(右上)の内容でした。



振り返って。。。 3回を総じて、参加者らは組織や行政区にこだわらない交流の場を求めているように感じられました。特に若い世代との関わりは地区民運動会などに限られるため、地区民が世代を超えて知り合うことは難しいのが現状です。今回の話し合いで見えてきたさまざまな【地域の課題】は今後も引き続き地域で考えていきたい問題でもあります。同時に、今回生まれたアイデアを1つでも実現化していきたいと思えます。